



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社

コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員

(氏名) 小谷 進

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 兼 専務執行役員

(氏名) 岡安 秀喜

TEL 044-580-3211

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	111,430	13.6	599	△69.3	△976	—	△2,761	—
24年3月期第1四半期	98,127	△10.7	1,952	△17.6	1,647	△2.3	293	△51.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △8,557百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △2,249百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△8.60	—
24年3月期第1四半期	0.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	300,751	80,777	25.2	236.17
24年3月期	322,012	89,037	26.1	261.98

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 75,827百万円 24年3月期 84,113百万円

(注) 自己資本は、純資産から少数株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の中間配当金および期末配当金は、業績等を考慮して、今後決定する予定です。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	7.6	6,000	△14.3	4,000	△21.1	1,000	△33.6	3.11
通期	500,000	14.5	20,000	59.8	16,000	62.2	8,500	131.6	26.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益の予想値は、平成25年3月期第1四半期における期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料4ページ「2. その他の情報 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	326,093,836 株	24年3月期	326,093,836 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,024,021 株	24年3月期	5,024,047 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	321,069,793 株	24年3月期1Q	321,070,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料4ページをご参照下さい。

## 目 次

<b>1. 四半期決算に関する定性的情報</b> .....	P. 2
(1) 連結経営成績 .....	P. 2
(2) 連結財政状態 .....	P. 3
(3) 連結業績予想 .....	P. 4
<b>2. その他の情報</b> .....	P. 4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
<b>3. 四半期連結財務諸表等</b> .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 10
(5) セグメント情報等 .....	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 11

---

問合せ先：IR部

電 話 (044) 580-3211  
ファクシミリ (044) 580-4064  
Eメール [pioneer\\_ir@post.pioneer.co.jp](mailto:pioneer_ir@post.pioneer.co.jp)  
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

## 1. 四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	平成25年3月期第1四半期 (平成24年4月～平成24年6月)	平成24年3月期第1四半期 (平成23年4月～平成23年6月)	増減率
売 上 高	111,430	98,127	13.6%
営 業 利 益	599	1,952	△69.3%
経 常 損 益	△976	1,647	—
当 期 純 損 益	△2,761	293	—

平成25年3月期第1四半期（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における連結売上高は、光ディスクドライブ関連製品の減少や円高の影響がありましたが、カーナビゲーションシステムおよびカーオーディオがOEMで大幅に増加したことから、前年同期に比べ13.6%増収の111,430百万円となりました。

営業利益については、売上高は増加しましたが、原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加により、前年同期から69.3%減益の599百万円となりました。また、当期純損益は、営業利益の減少に加え、為替差損益がマイナスに転じたことなどにより、前年同期の293百万円の利益から、2,761百万円の損失となりました。

当四半期の平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは1.9%の円高、対ユーロは14.1%の円高となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ41.0%増収の81,042百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、市販市場向けが前年同期における地上デジタル放送移行に伴う特需の反動等により、主に国内で減少しましたが、OEMが国内および北米で好調に推移したことから、増収となりました。一方、カーオーディオのうち、市販市場向けは、円高の影響を受け欧州で減少しましたが、国内および北米で増加したことから、増収となりました。OEMについても、前年同期に東日本大震災の影響による受注減があったことから、国内外ともに増収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の31%から53%に上昇しました。

国内外別の売上は、国内は51.1%増収の40,972百万円、海外は31.9%増収の40,070百万円となりました。

営業利益は、原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加はありましたが、売上が増加したことにより、前年同期に対して2.7倍の4,972百万円となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ29.8%減収の21,347百万円となりました。これは、AVレシーバーが北米および欧州を中心に増加しましたが、光ディスクドライブ関連製品が前述の地上デジタル放送移行に伴う特需の反動により大きく減少したことによるものです。

国内外別の売上は、国内は43.7%減収の8,698百万円、海外は15.5%減収の12,649百万円となりました。

営業損益は、売上減による売上総利益の減少や原価率の悪化に加え、販売費及び一般管理費の増加により、前年同期の362百万円の利益から2,780百万円の損失となりました。

その他の売上は、地図ソフトは増加しましたが、FA機器および電子部品が減少したことにより、前年同期に比べ11.6%減収の9,041百万円となりました。

国内外別の売上は、国内は5.3%増収の6,214百万円、海外は34.6%減収の2,827百万円となりました。

営業損失は、売上減による売上総利益の減少や原価率の悪化、および新規事業の立ち上げ費用発生により、前年同期の516百万円から1,156百万円となりました。

(注) 各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

## (2) 連結財政状態

当第1四半期末の総資産については、棚卸資産が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、ならびに投資有価証券が減少したことにより、前期末に比べ21,261百万円減少し、300,751百万円となりました。棚卸資産は、新製品発売に伴いカーエレクトロニクス製品を増産したことなどから8,160百万円増加し、75,031百万円となりました。一方、現金及び預金は14,051百万円減少し、31,902百万円となりました。受取手形及び売掛金は、当第1四半期の売上高が前期の第4四半期に比べ減少したことや円高の影響などにより11,347百万円減少し、65,926百万円となりました。また、投資有価証券は、保有株式の時価の下落等により2,470百万円減少し、7,148百万円となりました。

負債については、当第1四半期の仕入高が前期の第4四半期に比べ減少したことや円高の影響により、支払手形及び買掛金が7,337百万円減少したことに加え、未払費用が3,893百万円減少したことにより、前期末に比べ13,001百万円減少し、219,974百万円となりました。

純資産については、前期末に比べ8,260百万円減少し、80,777百万円となりました。これは、円高により為替換算調整勘定が3,833百万円減少したことに加え、当期純損失2,761百万円を計上したこと、および保有株式の時価の下落により有価証券評価差額金が2,197百万円減少したことによるものです。

当第1四半期のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が4,000百万円減少し、3,159百万円の支出となりました。これは、税金等調整前当期純損益が前年同期の1,895百万円の利益から1,424百万円の損失となった一方で、売上債権の減少額が6,169百万円拡大したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が5,091百万円増加し、9,686百万円の支出となりました。これは主に、固定資産の取得による支出が4,405百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が214百万円減少し、511百万円の支出となりました。

また、外貨建の現金及び現金同等物の換算差額は、前年同期の349百万円のマイナスに対し、1,385百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ14,741百万円減少し、31,212百万円となりました。

(3) 連結業績予想

平成24年5月10日に発表した平成25年3月期連結業績予想について、次のとおり修正します。

[第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)]

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	245,500	7,500	5,500	2,500
今回修正予想(B)	230,000	6,000	4,000	1,000
増減額(B-A)	△15,500	△1,500	△1,500	△1,500
増減率(%)	△6.3	△20.0	△27.3	△60.0
平成24年3月期第2四半期 連結累計期間実績(ご参考)	213,729	7,002	5,071	1,505

[通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)]

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	525,000	24,000	20,000	10,000
今回修正予想(B)	500,000	20,000	16,000	8,500
増減額(B-A)	△25,000	△4,000	△4,000	△1,500
増減率(%)	△4.8	△16.7	△20.0	△15.0
平成24年3月期通期実績 (ご参考)	436,753	12,514	9,863	3,670

ユーロ安が進んだことや、光ディスクドライブ関連製品の売上が大きく計画を下回ることなどから、中間期および通期の業績予想を上記のとおり下方修正するものです。

なお、以上の業績予想においては、為替レートを、米ドルは前回発表予想時より3円円高の1米ドル=77円、ユーロは10円円高の1ユーロ=95円と想定しています。

2. その他の情報

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

**見通しに関する注意事項**

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されたいは、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,953	31,902
受取手形及び売掛金	77,273	65,926
商品及び製品	31,616	38,682
仕掛品	12,599	14,247
原材料及び貯蔵品	22,656	22,102
繰延税金資産	7,874	7,378
その他	16,085	15,340
貸倒引当金	△1,160	△1,169
流動資産合計	212,896	194,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,851	63,298
機械、運搬具及び工具器具備品	144,668	144,445
その他	25,890	24,721
減価償却累計額	△172,309	△170,436
有形固定資産合計	62,100	62,028
無形固定資産		
のれん	648	637
ソフトウェア	26,713	26,810
その他	1,494	1,383
無形固定資産合計	28,855	28,830
投資その他の資産		
投資有価証券	9,618	7,148
繰延税金資産	5,902	5,750
その他	2,581	2,550
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	18,075	15,422
固定資産合計	109,030	106,280
繰延資産	86	63
資産合計	322,012	300,751

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,276	65,939
短期借入金	9,052	8,749
1年内返済予定の長期借入金	70,459	69,877
未払法人税等	5,503	4,311
未払費用	33,787	29,894
製品保証引当金	2,561	2,485
その他	14,532	14,846
流動負債合計	209,170	196,101
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
退職給付引当金	10,771	11,215
その他	3,034	2,658
固定負債合計	23,805	23,873
負債合計	232,975	219,974
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	87,257	87,257
資本剰余金	119,487	119,487
利益剰余金	△31,076	△33,837
自己株式	△11,050	△11,050
株主資本合計	164,618	161,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,064	△3,261
繰延ヘッジ損益	△105	261
為替換算調整勘定	△77,140	△80,973
海外子会社年金調整額	△2,196	△2,057
その他の包括利益累計額合計	△80,505	△86,030
少数株主持分	4,924	4,950
純資産合計	89,037	80,777
負債純資産合計	322,012	300,751



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	98,127	111,430
売上原価	74,489	87,425
売上総利益	23,638	24,005
販売費及び一般管理費	21,686	23,406
営業利益	1,952	599
営業外収益		
受取利息	88	43
受取配当金	91	62
為替差益	454	—
助成金収入	64	60
その他	66	65
営業外収益合計	763	230
営業外費用		
支払利息	846	634
為替差損	—	552
持分法による投資損失	33	254
その他	189	365
営業外費用合計	1,068	1,805
経常利益又は経常損失(△)	1,647	△976
特別利益		
固定資産売却益	22	72
子会社株式売却益	449	—
災害保険金収入	—	35
特別利益合計	471	107
特別損失		
固定資産除売却損	132	20
減損損失	84	45
災害損失	—	490
その他	7	—
特別損失合計	223	555
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,895	△1,424
法人税、住民税及び事業税	963	1,351
法人税等調整額	149	32
法人税等合計	1,112	1,383
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	783	△2,807
少数株主利益又は少数株主損失(△)	490	△46
四半期純利益又は四半期純損失(△)	293	△2,761

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	783	△2,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,051	△2,197
繰延ヘッジ損益	△211	366
為替換算調整勘定	△1,843	△4,140
持分法適用会社に対する持分相当額	30	82
海外子会社年金調整額	43	139
その他の包括利益合計	△3,032	△5,750
四半期包括利益	△2,249	△8,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,723	△8,286
少数株主に係る四半期包括利益	474	△271

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,895	△1,424
減価償却費	6,225	6,018
退職給付引当金の増減額(△は減少)	312	598
受取利息及び受取配当金	△179	△105
支払利息	846	634
固定資産除売却損益(△は益)	110	△52
売上債権の増減額(△は増加)	2,810	8,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,673	△11,161
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,526	△3,854
未払費用の増減額(△は減少)	△4,961	△3,162
その他	△1,306	3,494
小計	△4,447	△35
利息及び配当金の受取額	179	105
利息の支払額	△781	△622
法人税等の支払額	△2,110	△2,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,159	△3,159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△666	△700
固定資産の取得による支出	△4,719	△9,124
固定資産の売却による収入	805	117
その他	△15	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,595	△9,686
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	125	△3
長期借入金の返済による支出	△639	△582
その他	△211	74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725	△511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△349	△1,385
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,828	△14,741
現金及び現金同等物の期首残高	47,566	45,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,738	31,212

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

		前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	27,110	27.6%	40,972	36.8%	51.1%
	海外	30,368	31.0	40,070	35.9	31.9
		57,478	58.6	81,042	72.7	41.0
ホームエレクトロニクス	国内	15,455	15.7	8,698	7.8	△43.7
	海外	14,971	15.3	12,649	11.4	△15.5
		30,426	31.0	21,347	19.2	△29.8
その他	国内	5,901	6.1	6,214	5.6	5.3
	海外	4,322	4.3	2,827	2.5	△34.6
		10,223	10.4	9,041	8.1	△11.6
連結売上高計	国内	48,466	49.4	55,884	50.2	15.3
	海外	49,661	50.6	55,546	49.8	11.9
		98,127	100.0	111,430	100.0	13.6

2. セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレク トロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,478	30,426	10,223	98,127	—	98,127
セグメント間の内部 売上高または振替高	210	65	1,708	1,983	△1,983	—
計	57,688	30,491	11,931	100,110	△1,983	98,127
セグメント利益 (△損失)	1,853	362	△516	1,699	253	1,952

(注) 1. セグメント利益 (△損失) の調整額253百万円には、セグメント間取引消去△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等299百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益 (△損失) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーエレクト ロニクス	ホームエレクト ロニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,042	21,347	9,041	111,430	—	111,430
セグメント間の内部 売上高または振替高	191	68	1,833	2,092	△2,092	—
計	81,233	21,415	10,874	113,522	△2,092	111,430
セグメント利益(△損失)	4,972	△2,780	△1,156	1,036	△437	599

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△437百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△481百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。